

暑い夏が終わり、ようやく秋が訪れました。

あつという間に、もうすぐ十月ですね。

【神無月】

十月は神無月。

各地の神々が出雲に集まり、相談をなさる月だそうです。出雲の国以外の諸国では、神様がお留守なので神無月といわれます。出雲に限っては神有月と呼び、神在祭の神事が行われます。『奥義抄』という本に書いてあるこの説が一般的です。



また一説には、神々が集まるのは出雲でなく伊勢で、大神に新穀を供える祭の月だから「神嘗月」が正しいともいわれます。十七日は神嘗祭で伊勢神宮の大祭、宮中では賢所神嘗祭があります。各地の神々の不在はほぼ一か月で、各地ではこの神々を送り迎える「神送り神迎え」の行事があり、その間の留守番はエビス神やカマドの神。この神がその不在の神々の代役を務めるということとです。

【神嘗祭】十月十七日
十月十七日は神嘗祭があります。これは、正しくは「かんにへまつり」と言い、伊勢神宮において、その年にとれた一番はじめの稲穂(初穂)を天照大御神に奉る大祭中の大祭です。古事記によると、天孫降臨の際、天照大御神は、瓊瓊杵尊に次のような神勅を与えます。
「豊葦原の千五百秋の瑞穂の国は、是れ吾が子孫

の王たるべき地なり。宜しく爾皇孫就きて治せ、行矣。宝祚の隆えまさむこと、まさに天壤と窮りなかるべし」わかりやすくいうと、「豊葦原の瑞穂の国(稲の穂が豊かに実る国、日本)は私の子孫が治めるべき国です。私の孫(真子)であるお前が行って天の理想を地上に実現する中心者になりなさい。その尊いみ位も、国柄も永遠に栄え、天地と共にどこまでも続くでしょう。」と。

そして、この時天照大御神ご自身が高天原で作りになつた稲穂を親しく授けられ、この稲穂を播き継いで日本を永遠に栄えさせよと仰せられました。



日本民族の主食である稲は

「天の御心を地上に」という天孫降臨の御神勅とともに授けられたと「日本書紀」や

「古事記」に記されています。農業によって栄えてきた稲穂豊かな国、日本。この農業起源の恩に感謝し、その年の稲が初めて穂をつけた時、喜びと感謝の心いっばいで、神様に初穂をお供えするのが、神嘗祭というお祭りなのです。二千年以上も、このような祭りを通して代々天皇様は、神の言葉に心澄ませ、無私の心で民の幸せと国家、人類の繁栄を祈り続けてこられています。

【即位礼正殿の儀】十月二十二日

五月一日に三種神器を受け継がれ、新しく天皇陛下が皇位に即かれ、平成から令和への御代替がありました。新しい天皇陛下は、吉日をえらび、その即位を公式に国内や諸外国へ宣言して、明らかにされ

ます。

国民の代表や海外の賓客らが祝福する中、陛下がその御座である「高御座」に、皇后陛下が「御帳台」に昇られる、威風堂々とした儀式が行われます。



— おすすめの本 —

【一般図書】

本の世界でまほろば奈良大和を堪能されてはいかがでしょう。

『万葉百景 上』中西進著 笹川弘三写真

写真家の感性で切り取った万葉の風景、どこか懐かしい悠久の時の流れ。万葉集研究の第一人者中西進の名著ですが、写真だけ眺めていても充分満足できる本です。

『天平の甍』井上靖著

日本歴史小説の最高峰。唐招提寺金堂(天平の甍)の「平成の大修理」は、十年もかかったと驚く前に、鑑真和上が渡日に成功するまで、なんと二十年もかかったというこの小説をじっくりどうぞ。

【児童図書】

『かわいいゴキブリのおんなの子 メイベルのぼうけん』ケイティ・スペック作 おびかゆうこ訳
くいしんぼうのメイベルの夢はお皿にのったごちそうを食べること。ゴキブリだけど、かわいい女の子のお話です。

(榎田喜美子)



和歌コーナー

ろうそくを いきでふうと けしました

ろうそくけて うれしかったよ

年中 N・Y

☆ろうそくをうまくふきつけてよかったね。



おりがみで せんせいしたよ

きんぎよや せみをつくったよ たのしかったよ

一年 M・S

☆みんなに上手に教えてくれてありがとう。

夏らしいおりがみばかりで、うれしかったです。

おりがみで きんぎよをつくったむずかしかった
なつのさくひん できあがりだ

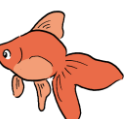
きのうはね でん車見学 行ったんだ

しゃしようさんになって ほうそうしたよ

二年 K・S

☆とってもすてきなおりがみの作品ができました。

電車見学で車しようさんになってすごいね。



おりがみで きんぎよやせみを 作ったよ
むずかしかったよ でもたのしかった

三年 N・A

☆きれいなおりがみの作品ができて楽しかったね。

あさがおが 思ったよりも むずかしく
家に帰って 教えてもらう

中一年 N・K

☆あさがおの花は、折り目を正確につけないと
きれいなお花が開かないので難しいですね

(加古川こども寺子屋より)

おしゅうじで すみをすったよ たのしかったよ

ふてたてて つきとかいたよ

てらこやに パパときたよ くるまにのって

ソフィアのDVDを みながらきたよ

年少 I・H

☆ひなちゃんのは、のびのびと楽しく書いてました。

つきみたよ おうちのなかで きいろかった

まるのはんぶん きれいだったよ

ながかった くるまのなかで パンもたべたよ

ついてよかった かこがわてらこや

年中 K・Y

☆車にのって、二時間もかけて寺子屋に
来てくれて、ありがとう。

じゅうごやの おつきさまみたよ

きれいだね からてにいくとき くるまのなかで

年中 O・T

☆十五夜のお月様が見られて、よかったたですね。



てらこやで おしゅうじがんばった
「むし」の「む」を ていねいにおおきくかいた

小学一年 O・H

☆いつも力強く堂々と書いていますね。

今月の言葉

万葉集 第七・一〇六八

かきのもとひとまる

柿本人麻呂

あめ うみ
天の海に

ぐも なみた
雲の波立ち

つき ふね
月の舟

ほし はやし
星の林に

こ かく み
漕ぎ隠る見ゆ

(大意)

てん うみ くも
天の海に雲の波が立ち

つき ふね ほし はやし
月の船が星の林に

こ かく み
漕ぎ隠れていくのが見えるよ

十月二十六日(土) 生命の教育講演会

◇「食といのちの大切な話」木村悠方子さん

◇ なでしこホール 午後二時～四時

素敵なお話です♪ 楽しみにおいで下さいね。

十一月二十三日(土) 六階和室です。(藤波礼子)